



美術館だより

岐阜県美術館

2010.12.28
No. 66

岐阜県美術館

〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22 TEL:058-271-1313(代表) FAX:058-271-1315

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s27213/> E-mail: c27213@pref.gifu.lg.jp

はじめに

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 三尾公三展 三つの作品鑑賞会
- 3 舞台裏ノート 虫パトロール活動中
- 4 スタジオができます！
- 5 美術館への贈り物 杉山半次郎コレクション
- 6 県民ギャラリーが新しくなりました

岐阜県美術館はこれまで年間1～2回のペースで『美術館だより』を発行してきましたが、今年度からPDF化をはかり、美術館ホームページよりご覧いただけるようにいたします。

過去に発行された『美術館だより』も、順次PDF化しますので、ダウンロードしてご覧ください。

これにともない66号からは印刷物として配布することはいたしません。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

また今後とも、岐阜県美術館の活動にご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS 三尾公三展 三つの作品鑑賞会



三尾公三展 展示風景

企画展示室では11月2日から平成23年1月30日まで「現代へのまなざし 没後10年 三尾公三展」を開催中です。

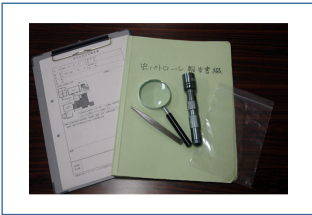
み お こう ぞ う
三尾公三は、1981年に新潮社が創刊した写真週刊誌『FOCUS』（フォーカス）の表紙をずっと担当していたことで知られています。女性の大きな瞳がこちらを見つめる色鮮やかな表紙は、当時たいへん目新しく、多くの人を引きつけました。

彼の作品は、絵具の細かな粒子を画面に直接吹き付ける、エアブラシという技法が用いられています。筆のタッチが残らないので、写真のようなクールな画面に仕上がります。写実的な表現と平行して、ゆがんだ空間、重力を無視して浮き上がるモチーフ、平面と立体とが入りまじった描写などを組み合わせて、虚実の狭間を行き来するような幻想的な作風を創り出しました。

(3 ページに続きます。)

舞台裏ノート サポーター活動「虫パトロール隊」

岐阜県美術館サポーター・吉村仁禪



虫パトロール隊とIPM シンポジウム

岐阜県美術館のサポーター活動に、館内外の害虫を調査する「虫パトロール隊」が発足しました。IPM(総合的有害生物管理)担当の学芸員・廣江先生のご指導の下、サポーターが館内外を随時パトロールしています。まだ発足したてで、とりたてた活動をしているわけではありませんが、美術品に悪影響を及ぼす害虫が意外にたくさんいることに驚き、普段のパトロールに加えて、美術館の定期的な大規模調査にもできるかぎり協力したいと思っています。

そんなささやかな活動ですが、IPMを推進している九州国立博物館から「IPMシンポジウムで、その活動ぶりを発表してほしい」との依頼があり、平成22年8月21日と22日、太宰府市の九州国立博物館で開催された「市民と共にミュージアムIPM」というシンポジウムに、学芸部の谷口先生とサポーターの伊藤・吉村が参加して発表をしてきました。

同シンポでは愛知県美術館の友の会サポート部と九州国立博物館の環境ボランティアの発表もあり、我々よりはるかに先を行っているIPM活動ぶりを知らされて、大変勉強になりました。また、交流会では多くの美術館・博物館ボランティアの方々にお会いして、IPM活動のほか、さまざまな問題について語り合うことができ、非常に有意義な二日間でした。

「虫パトロール隊」の現在の活動は、随時の館内外パトロールのほか、美術館の定期的あるいは特別な大規模調査のほんのお手伝いをしているにすぎませんが、ミュージアムIPMにとって市民の協力が何よりも必要であることから、少しずつレベルを上げていって、担当学芸員さんを少しでもサポートできればと思っています。

TOPICS スタジオができます！

「キッズ・エンジョイ・アートで集まるとき、多目的ホールだと床が大理石で冷たい。」「展示会場近くでアートゲームをする場所があるといい。」「展示会にちなんで制作をするのに実習棟だとちょっと遠い。」「展示する作品の制作風景などの映像を気楽に見られる場所がほしい。」「そんな願いに応えるのがこのスタジオです。これで美術館の楽しみ方がもっともって増えてくれることを願っています。

(学芸部 小薮達也)

先頃より岐阜県美術館は再整備に向けて取り組んできましたが、そのトップをきって、平成22年4月、新しい県民ギャラリーがオープンしました。(4ページをご参照ください)

これに続いて、平成23年春、新しい創作スペース「スタジオ」が誕生します！

設備の老朽化などで平成19年11月末をもって閉じられたハイビジョンギャラリーの空間が、多目的な創作活動を可能にする「スタジオ」に生まれ変わるようになりました。

平成23年1月から改修のための工事が始まります。工事に伴い、鑑賞者の方々や関係各機関にはご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。

新しいスタジオに、乞うご期待！

美術館への贈り物 杉山半次郎コレクション

杉山半次郎コレクションとは、岐阜市の杉山半次郎氏(明治6年～昭和35年)が収集した書画、工芸等71件の美術品で、平成22年度にご遺族から岐阜県美術館に寄贈されました。コレクションの中でも注目すべきは日本画家・川合玉堂の作品で、若い頃の力作が多いのが大きな特徴です。

半次郎氏は杉山半七の長男として生まれ、金華山麓の萬松館を継ぎ、玄中庵と号しました。萬松館は鶺鴒を観光名物とする長良川のそばに位置する料亭旅館です。岐阜を訪れ萬松館に滞在した美術家や作家は数多く、半次郎はそれらの文化人と親しく交流しました。川合玉堂とは岐阜尋常小学校の同級生でもあり、特に仲が良く、交遊は生涯にわたって続きました。

岐阜県美術館では、平成22年度第2期および第3期の特集展示で、杉山半次郎コレクションの中から、荒川豊藏の茶碗や川合玉堂の絵画、書簡などを紹介しました。白眉というべき一点は、玉堂が17歳で描いた《老松図》(写真右側の屏風)です。これは現在所在が判明している玉堂作品の中でも最も初期に描かれた大作で、玉堂の作品研究には欠かせない重要な作品といえます。この貴重なコレクションをご寄贈くださった杉山家に深く感謝するとともに、今後も研究を重ね、公開していくことで、ご厚情に報いたいと願っています。



杉山半次郎コレクション 川合玉堂作品の展示風景(平成22年9月)

"三尾公三展 三つの作品鑑賞会"(1 ページの続き)

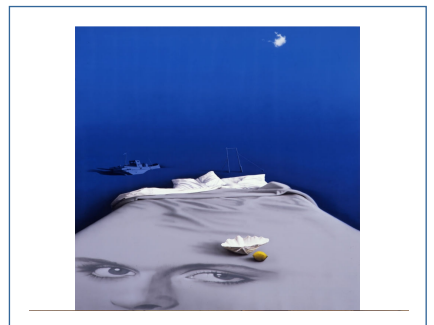
三尾公三の没後10年を機に開催される本展では、それぞれ異なる切り口から三尾作品に迫る、三つの作品鑑賞会が催されます。

第1弾は、廣江泰孝学芸員による「作品を読み解く」。11月19日の夜間開館日に開催されました。作品を成り立たせている空間構造を読み解き、表現の狙いにせまりました。参加しそびれて残念という方、朗報です！平成23年1月10日(祝・月)、午後2時から3時まで、同学芸員による美術講座「三尾公三と作品」が行われますので、ぜひご聴講ください。

第2弾の作品鑑賞会は、佐野素子学芸員による「『FOCUS』編」。三尾公三の名を美術の世界から一般社会へと広げた写真週刊誌、『FOCUS』に焦点をあて、平成22年12月17日(金)、午後7時30分から8時15分に行われました。

第3弾は、松岡未紗学芸業務専門職による「エアブラシの技法にせまる」。作り手の立場から、三尾公三の卓越した技法を紹介します。平成23年1月21日(金)、午後7時30分から8時15分に行われます。

企画展示室の実際の作品の前で、それぞれのスタッフのことばと意思によって、新たな見かたを広げてくれる作品鑑賞会。ぜひこの機会に参加してみたいかがでしょうか？



三尾公三《蒼天》(平成2年)

このほかにも、会期中の毎週日曜日、午後2時から、担当学芸員による「三尾公三展の見どころ」紹介が行われています。いずれも事前申込みは不要です。(ただし、三尾公三展の観覧券が必要です)ぜひお気軽にご参加ください！

県民ギャラリーが新しくなりました

平成22年1月から3月末まで県民ギャラリーの改修工事が行われておりましたが、4月に新しいギャラリーがリニューアルオープンしました。床が寄木になり、照明も壁を一定に明るくする天井蛍光灯に変わりました。移動壁のクロスも張り替えて、以前よりも明るい展示室になっています。多くの方のご利用をお待ちしております。



寄附のお願い—岐阜県美術館の再整備—

開館30周年(平成24年)にむけて展示スペース等を充実いたします。県民の貴重な財産である作品の保全や、皆様の創作発表会場の改善のため、引き続きご支援をお願い申し上げます。

【お問い合わせ窓口】

岐阜県庁内 社会教育文化課

TEL: 058-272-1111(内線 3576)

岐阜県美術館

TEL: 058-271-1313

【参考ホームページ】

岐阜県文化芸術振興基金

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kyoiku-bunka-sports/bunka-geijutsu/jigyo/kikinannai/bunkakikin.html>

編集後記

昨年に続き、『美術館だより』の仕様が変わりました。今年は印刷物から Web での情報提供に切り替わりました。お届けする内容も、PDF 化にともない、見直しをすすめて参ります。

また「連載 開館30周年へ向けて」は都合により休載しました。ご了承ください。(青山)

お問い合わせ

岐阜県美術館

〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22

電話番号:

058-271-1313

FAX 番号:

058-271-1315

電子メール:

c27213@pref.gifu.lg.jp